

【第66回 地中海全国大会（福島大会）ご案内】

◆日時 平成30年（2018年）5月20日（日）～21日（月）、1泊2日

◆会場 飯坂温泉 ホテル聚楽

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字西滝ノ町27

TEL：024-542-2201 FAX：024-542-0952

◆会費 25,000円

◆交通 JR東北新幹線・東北本線「福島」駅下車。

・福島駅西口よりホテルまで、バス2便を用意します。ご利用ください。11：30、13：00の予定。

・福島駅から電車（福島交通飯坂線）で23分、飯坂温泉駅下車。ホテルへのシャトルバスあり。

・福島駅からタクシーで約30分。

◆日程 5月20日（日）

受付 12：30～

運営委員会（軽食付） 13：00～14：20

班別歌会Ⅰ 14：30～16：30

講話「福島から思いを言葉に託して」

二階堂 晃子 氏 16：45～17：45

懇親会 18：30～20：30

※写真撮影は班別歌会の会場で班ごとに行います。

5月21日（月）

朝食 7：30～8：30

班別歌会Ⅱ 9：00～10：50（「地中海」5月号持参）

総会 11：00～12：00

解散 12：00（昼食の用意あり）

◆申込 「地中海」誌2月号に添付する専用払込取扱票により、金額、必要事項を記入の上、2月末日までに、送金、お申し込みください。

大会前後の連泊、同室希望等につきましては、その旨を事務局までお申し出ください。なお、このホテルは一室4～5名仕様が基本です。

☆振替口座番号：00240-8-134860 地中海全国大会東京大会

☆会計担当：永塚 節子

〒250-0002 小田原市寿町3-5-21 第2ロイヤルハイツ203

(TEL/FAX：0465-43-9795)

◆詠草 新作1首。住所（〒も記入）氏名、所属支社またはグループ名、A・B・Cの別を明記。「地中海」原稿用紙を使用のこと。返信用封筒（長形3号封筒に92円切手を貼り、自分宛の住所、氏名を記したものを同封の上、3月15日（水）必着にて下記宛にお送りください。

・送付先：〒960-0462 福島県伊達市本町30

藤田美智子（TEL：024-583-2158 e-mail：fujita-ms@mbj.ocn.ne.jp）

◆運営 地中海本社・新樹の会（協力・福島支社）

大会委員長・事務局 藤田美智子

大会副委員長 藤森 巳行（TEL：048-296-7680 FAX：048-296-5347）

会計 永塚 節子・大浪 美智

クリップ

■入会届・退会届について
葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

三月末をもって会計年度の締めになります。四月に入りまして、平成三〇年度分の会費を納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。各欄の月額は次の通りです。

- ・ A欄 二〇〇〇円
- ・ B欄 一五〇〇円
- ・ C欄 一〇〇〇円
- ・ 購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちも是非ご勧

誘ください)

00160・4・17969 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただける幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて
一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめての申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただきます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題

でも)②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原邑子歌集

『沖繩〈新装版〉』注文受付
ご注文を受け付けています。

一冊2000円(税と送料は桃原氏負担)です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、左の口座へお願いします。

00180・2・790055 九曜書林

本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありませんが、常駐する者がおりませんので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・ 藤森：TEL 090-8301-6423
・ 久我：TEL&FAX 043-241-7925
までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開いています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。歌集の出版につきましても、予算やご希望に応じてできる限りの対応をさせていただきます。ご意見その他もどうぞお寄せください。



神田通信

◆今号の編集作業をしている二

月十四日はバレンタインデーと
思いきや地中海の引越し記念
日だとか。昨年の今日、四階に
引越したのです。その今日
現在の全国大会参加申込みはま
だ少ないようですが、多くの皆
様と福島でお会いできることを
願っています。(藤森)

◆七回目の戌年を迎えました。

長かったような短かったような
近頃は伏えることもなく、大人
しくなりました。(朝井)

◆今月は編集作業の私の上司が
お休み。教わった気でもいざ一
人となると不安。でも一番心
配な作業は前日になされており
ました。さすが上司！(玉井)

◆「敬天愛人」の真実「西郷隆
盛と聖書」(守部喜雄著)を大
河ドラマの前にと頂いた。彼の
出会った一八六六年上海刊の漢
訳聖書が興味深い。(和美)

◆午前六時前、大島の北のへり

から細いつるぎのような月が出
た。六時三〇分、辺りは明るく
なって見えなくなった。朝焼け
が見事であった。(三好)

◆南房総からほんの少し北の地
に転居して初めての冬、朝毎の
霜や水に身を縮めていましたが、
この号は四月号、春と思うと何
か始めねばと思ったりして。

◆「お」は接頭語。ふつう無く
てもよいが、「おでん」「おにぎ
り」は別。「お」をはずして
「でん」とは言わないし、「にぎ
り」ではお寿司になってしまう。
面白いですね。(小野)

◆「梅白く咲き わが血の匂ふ
あゝむらぎもの まひるの月」
久方寿満子先生の昭和十六年の
歌。先生の別の面を見ような、
源泉に触れたような。(磯田)

◆一年の経つのは早いもので、
地中海の会計も新しい年度に入
ります。上半期(四月〜九月)
までの会費、または一年分の会
費納入をよろしくお願いいたし
ます。(水塚)

◆「おらおらでひとりいぐも」
若竹千佐子著の主人公は自身の
内なる様々な声を聞く。それ
で短歌と同じ！歌も独白ではな
く重層的な己との対話だ。
(高尾)

◆石牟礼道子さんの計報を苦し
い思いで受け止めた人は多かっ
たのではないだろうか。新作能
が今秋、志村ふくみさん衣装監
修で上演されるといふ。(浜谷)

◆この冬の大雪、当地でも二度
積まりました。低温で雪が溶け
ず外出もままならず、物流も滞
りました。雪国の方のご苦労は
いかばかりかと。(奥田)

◆二月号にあった「湾」の抄出
歌十二首を歌会の合間に声に出
して読んだ。香川短歌にまだ馴
染みの薄いひとりが「いいです
ね」とちいさな声で。(楢垣)

◆名前が悪いばかりに肩身の
狭い思いをしている物に、悪玉
コレステロールがある。必須の
栄養源で、肝臓がせっせと作っ
てくれているのに。(成彦)

◆五月の福島大会で、桃原邑子

さんの短歌をもとに作られた合
唱曲「南風の花」を歌う準備を
進めている。大会の楽しみの一
つにしていただければ。(藤田)

◆今号は、浜田昭則歌集「暗黒
物質」の特集号。社外から同郷
の池本一郎氏(塔)のご批評を
いただきました。ありがとうございました。
ございました。巻頭二十首詠は娘
の浜田恭江さんです。

◆「プラシントンの骸海底都市
に降るかなしさにして雪の新宿」
これは、「現代短歌」二月号に
鳥居さんが取り上げてくれた浜
田昭則作品です。「マリンスノー」
などとは言わず、新宿の雪を詠っ
ているのは、やはり浜田さんだ！
(久我)

●4月・5月の本社予定●

- 4月3日(火) ……校正
 - 4月17日(火) ……編集
 - 4月25日(水) ……実務
 - 5月7日(月) ……校正
 - 5月15日(火) ……編集
- * 4月・5月の歌会はお休み

作品募集〈写真・歌合わせ〉

*写真A・写真Bのいずれかを素材に短歌を一首、自在に遊びのつもりで作って送ってください。

A



【写真：田土成彦】

B



【写真：久我田鶴子】

《要項》

- ・締切…平成30年5月末日
- ・掲載…平成30年8月号
- ・官製はがきに選んだ写真AかBかを明記の上、一首を書いて左記にお送りください。(一人一首のみに限ります。)

〒535-0005 大阪市旭区赤川4-23-17 田土成彦